

## 第6学年 算数科「比べ方を考えよう」略案

指導者 赤塚 智哉  
佐々木 譲  
木村 美田紀

1. 日時 6月25日(月)竹組 6月27日(水)松組 6月28日(木)梅組 いずれも2校時(9:20~10:05)  
 2. ねらい ○学習内容の理解を深め、定着を図ることができる。  
 3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
9:20	1. 既習事項を確認する。 ・単位量あたりの大きさ ・混み具合の比べ方 ・(速さ, 道のり, 時間の公式)	◇これまでどんな学習をしてきたのか, 児童から引き出す。	◇一言あいさつをしていただく。	・竹組は単元終了済み ・松, 梅組は単位量あたりの大きさまで学習済み
9:24	2. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">今まで学習したことを生かして, 問題を解いてみよう。</div>			
9:25	3. 学習の進め方を確認する。	◇次のように進めることを確認する ①プリント「ホップ」問題に挑戦する。 ②プリント「ステップ」問題で, 自分の苦手なところ, もう少し練習したいところに取り組む。 ③「ホップ」を全問正解した児童, 「ステップ」をクリアした児童は, よりレベルアップするために, センターの先生から「ジャンプ」問題を出していただく。	◇難問を揃えて挑戦を待っていることを知らせ, 児童の意欲を高める。  ※「ジャンプ」問題の範囲は・・・ 〈竹組〉単元の学習が終わっているので, 速さの部分も出してください。 〈松・梅〉まだ速さの部分は学習していないので, 単位量あたりの大きさをを用いた問題を出してください。	「ホップ」 ・単位量あたりの考えを使っ て, 混み具合 やとれ具合を 求める。 「ステップ」 ・人口密度 ・単位量あたりの考えを使っ た問題。
9:28	4. 問題に取り組む。	◇解答を準備し, 自己採点・自己評価させる。 ◇つまずきが予想される児童を中心に机間指導する。	◇「ジャンプ」を担当する。単位量あたりの大きさから全体を求める問題や, 時速を分速, 秒速に直す問題など, 応用問題に取り組ませ, 採点する。	
9:58	5. ふり返りをする。	◇ふりかえりのポイントを示す。 机間指導し, 発表者を選ぶ。		
10:03	6. センターの先生のお話を聞く。		◇今日の学習への取り組み方やこの単元で押さえてほしいことなどをお話していただく。	